

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本神経精神薬理学会
演題名	自閉スペクトラム症関連分子SHANK3の新規アイソフォームの同定とマウス脳発達過程における脳内発現解析
発表者	<u>和賀央子</u> 、○伊藤麻衣※、武馬慧吏子※、神戸瑞也※、村上浩子、 <u>内野茂夫</u>
内容	2016年7月2日に韓国ソウル（COEX）で開催された日本神経精神薬理学会で、上記演題についてポスター発表を行った。当初、和賀研究員が発表予定であったが、都合により伊藤（大学院M2）が発表した。内容は、自閉スペクトラム症関連分子であるSHANK3について、伊藤らが卒業研究で見出した新たなアイソフォームの同定と脳内発現解結果を発表した。本アイソフォームは、SHANK3がシナプス機能分子と相互作用する重要な領域であるSH3ドメインを欠失した非常に興味深いアイソフォームであるが、未だその機能はわかっていない。また、その発現は特に脳の発達期に高いことがわかった。今後の研究の進捗が待たれる。
関連画像	 A photograph showing two individuals, a man and a woman, standing in front of a poster display at a conference. The man is on the left, wearing a blue shirt and dark pants. The woman is on the right, wearing a white top and dark pants. The poster behind them is titled 'P14-4' and 'P14-3' and contains scientific data and diagrams. The background also shows a 'Neurologia' logo.